



## 周 依丹 (シュウ イタン) さん

国籍：中国

出身大学：埼玉大学大学院

専攻：文化科学研究科 日本・アジア研究専攻

内定先：株式会社エー・アンド・デイ

### □日本に留学した動機

最初に日本に来るきっかけは、中国の大学時代に日本の某国立大学との交換留学に応募し、幸運にも日本で学ぶチャンスに恵まれたことです。一年間の交換留学を通して、日本の良さを知り、もっと日本語の研究を続けたいと思うようになり、それで日本の大学院への留学を決めました。

### □日本で就職する理由

私は、以前から日本の会社に関心していました。なぜかというと日本の会社は、技術力があり、かつ品質にとってもこだわりがあるからです。また、生活環境もすごく良いので気に入っていました。また、日本に就職することで、あえて日本語の環境に身を置くことで、もっと日本語を勉強したいという気持ちもありました。

### □現在の就職先の選択理由

私が、その会社を選択した理由は、ひとつは、会社独自の技術を持っており、そして研究開発への投資も積極的で、自社の製品にこだわりがあるので、良い会社だと思いました。もう一つの理由は、職種です。私は、海外営業の職種に応募しました。中国語、日本語、そして英語を使って海外とやり取りをするような仕事をしたいと思っていたからです。それを叶えてくれたのは選択した会社だけでした。他にも2つのメーカーから内定をいただきましたが、残念ながら海外営業職ではありませんでした。

### □企業への自己PR、アピールポイント

異文化コミュニケーション能力です。交換留学で日本にきたとき、クラスメイトは、世界12カ国から来ていたので英語で交流していました。そのとき、私は唯一の日本語のわかる人間として、見物の案内をしたり、生活上も助け合ったりしました。そして時には、

日本語と英語の翻訳や通訳もしました。また、異なる文化のニーズに合わせて、例えばイスラム教の人は、豚肉が食べられないので、豚肉がでないレストランを探したり、経済的に余裕のない人のために、安いお店や交通ルートを探したりしました。私はこの経験を通じて文化の異なる人々の役に立ち、仲よくさせることができるという自信を得ることができました。

#### □就職活動開始時期と応募企業数

大学院1年生の12月から始めました。本格的に面接とかを始めたのは、翌年の2月くらいからです。エントリーした会社は40社ぐらいで、面接した会社は18社です。最初は結構落ちていました。大企業だけでなく小さな企業も落ちていました。そして、なぜ落ちたのか原因を考えました。やはり相手とのコミュニケーション不足だったと思います。面接では、最初は丸ごと暗記して声も小さく固くなっていましたので自信なさそうに見えたと思います。それが良くなかったと思っています。

私は、性格的に粘り強く、設定した目標を達成するまで諦めない性格なので、何度となく落ちても落ち込むことはありませんでした。そうして繰り返し受けているうちに、だんだん慣れてきてうまくできるようになったのだと思います。落ち込みそうになったときは、日本に来た時の気持ち（日本で就職したいという夢）を思い出して、「次がまだある。」と自分に言い聞かせて頑張りました。

あと、周りに影響されないことも大事だと思います。私の周りにも「日本の就職は難しい」とか「何十社も落ちたら就職できない」など否定的なことをいう人がいましたが、気にしないように努めました。自分を信じて頑張ることが大事だと思います。

#### □具体的な就職活動内容

最初は学校で行われた会社説明会に参加したり、企業HPのマイページやリクナビからエントリーしていました。大学の就職支援課の先生からの紹介でGGSを知り、登録してからは、GGSから送られてくる情報を頼りに合同説明会に参加していました。なぜかというGGSの情報はほとんどが留学生向けで信頼していたからです。

#### □GGSに登録してよかったこと

リクナビ、マイナビ等のように1日に百通以上もメールが送られてくると見る気もなくなり、実際見ていませんでしたが、GGSからのメールは、そういうことはなく留学生向けの就職情報ばかりで信頼性も高かったので必ずチェックしていました。

このことは、ぜひ後輩のみなさんにアドバイスしたいと思います。

#### □事前準備、企業研究

企業のHPをみて勉強しました。そしてHPではわからなかったことや知りたいことがあったら、メモしておいて会社説明会に行ったときに確認しました。また、自己PRや志



望動機などは、調べた内容に合わせて事前に準備しました。

#### □エントリーシート、履歴書

大学の就職支援課で本を借りて見ながら勉強しました。そして、日本人の友達や就職支援課の人に添削してもらいました。

#### □面接での注意点

やはり笑顔と大きな声で元気よく臨むことが大事だと思います。そして、丸ごと暗記ではなく、相手の質問に対して自分でその場で考えて答えを出すことが大事だと思います。

私も最初は結構緊張していました。たぶんそのせいで結構落ちていました。そして自信を無くし丸ごと暗記になり、違うことを聞かれると頭が真っ白になっていましたが、沢山経験することで改善できました。

また、自分をアピールするエピソードなどは事前に準備する必要があると思います。

私も3～4つ準備しました。

#### □抱負と将来設計

海外営業という職種に携わりたいので、最初の2～3年間は基礎知識を勉強して、次にメーカーなので身に着けるべき理系の知識もたくさんありますので、それらを勉強していき、早く一人前の海外営業になりたいと思っています。そして将来は海外に駐在したりしてお客様のニーズに対して新しいよりよい商品を提案ができるような社会人になりたいと思っています。

#### □後輩へのアドバイス

まず、ひとつ目は、自分が働きたい業界をよく考えて決めることです。会社説明会では、いろいろな業界を見て回ることは構いませんが、最後には一つに絞る方がいいと思います。

二つ目は、いろいろな道を通して情報収集することが大事だと思います。たとえば、こちらのGGSだったり、友達やすでに就職している先輩にアドバイスを求めたり、就職支援課を利用することです。

三つ目は、面接は、緊張しないで笑顔で大きな声で元気よく臨むことです。

そして最後は、決して諦めないことです！

#### □GGS から一言

周 依丹（シュウ イタン）さんは、東証一部上場の電子計測器メーカー、中堅自動車部品メーカーおよび電子機器メーカーと合計3社から内定を勝ち取ることができました。その要因は、

1. 目標（メーカーの海外営業職への就職）がはっきりしていたこと。
2. 何度となく落ちてもそこから学び、自分を信じて前進できたこと。
3. 決して諦めなかったこと。

ではないかと思います。

周 依丹（シュウ イタン）さん、就職内定本当におめでとうございます！